

令和6年度 各務原市の決算状況 (わかりやすい決算書)



はじめに

(注1) 本冊子では、総務省が定めた全国一律のルールにより算出した、普通会計決算に基づいた決算額を記載しています。
(注2) 本冊子中の説明文は、分かりやすさを重視する観点から表現しています。
(注3) 「どんなことにお金を使ったの？もっと詳しく」(p.7~9)には特別会計の事業も掲載しています。

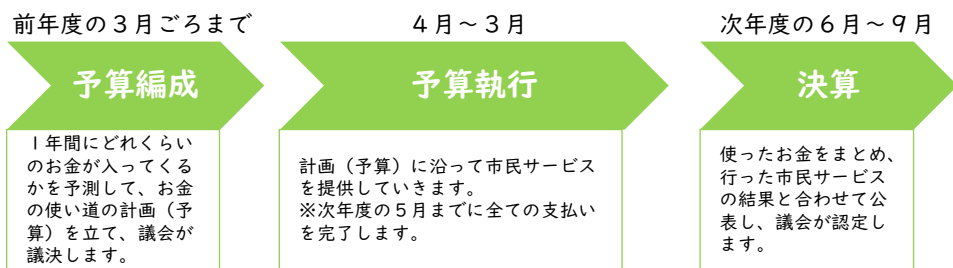
(1) わかりやすい決算書とは

- ✓多くの皆さんに市の決算状況を分かりやすく知っていただきたいという思いから、本冊子を作成しました。
- ✓市の事業は、子どもたちの教育や道路の整備、ごみの収集処理など、皆さんの生活に密着しています。
- ✓この冊子を通して、市民の皆さんに、市の事業や財政状況に対するご理解を深めていただきたいと思います。

(2) 決算と予算の関係

- ✓あらかじめ、どんなお金が入り、どんなことにいくら使うかという計画を立てたものを「予算」といいます。
- ✓計画に対し、実際どれだけのお金が入ってきて、どれだけのお金を使ったかをまとめたものを「決算」といいます。
- ✓自然災害の発生や経済情勢の変化といった不測の事態が生じた場合などは、途中で計画を変更することがあります。この変更を「補正予算」といい、通常は6月・9月・12月・3月の年4回の市議会定例会のタイミングで行います。

(3) 予算から決算までの流れ



令和6年度に実施した事業について、SDGsの17種類のうち該当する主なゴール(目標)を示しました。

SDGsとは「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略で、平成28年から令和12年までの国際社会共通の目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール(目標)と169のターゲットから構成され、すべての国において「誰一人取り残さない」社会の実現を目指す、広範で統合的な取り組みです。

市では、「総合計画(後期基本計画)」や「総合戦略」の中で、SDGsを取り組みの前提事項に位置付けています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



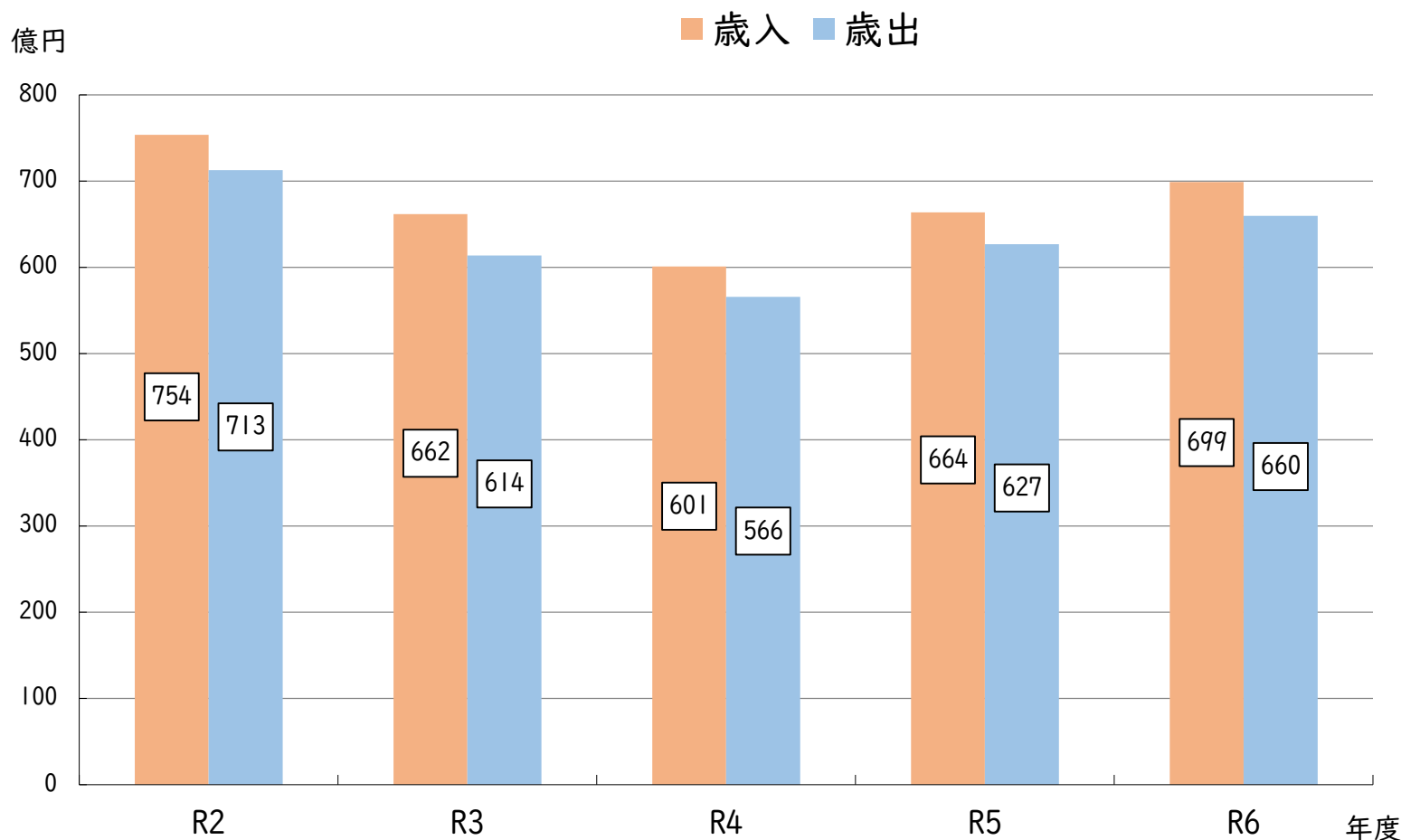
どれくらいのお金を扱っているの？【決算規模】

令和6年度の決算では、

入ったお金（歳入）は、699億円、使ったお金（歳出）は、660億円です。

余ったお金の39億円は、次の年度に使います（「繰越金」といいます）。

決算規模の推移



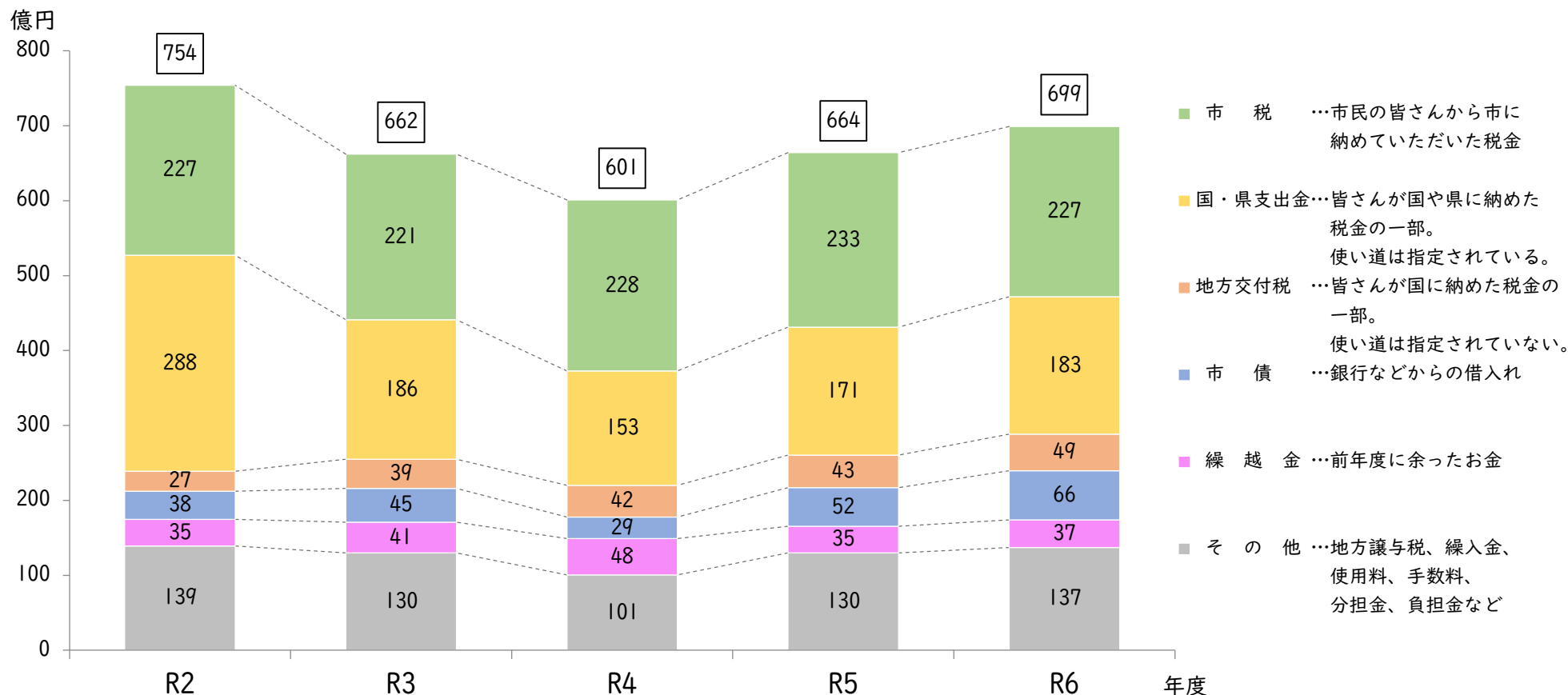
どんなお金が入ってきたの？【歳入内訳】

市に入ってきたお金（歳入）を見てみましょう。

市民や市内に事務所などがある法人などが納める**市税**のほか、国や県から入ってくる**お金**、施設の**利用料**、銀行などからの**借金**、**貯金**を取り崩した**お金**などがあります。

令和6年度は、文化会館施設整備事業を始めとした施設の老朽化対策の実施などにより、市債が14億円増加しています。

歳入



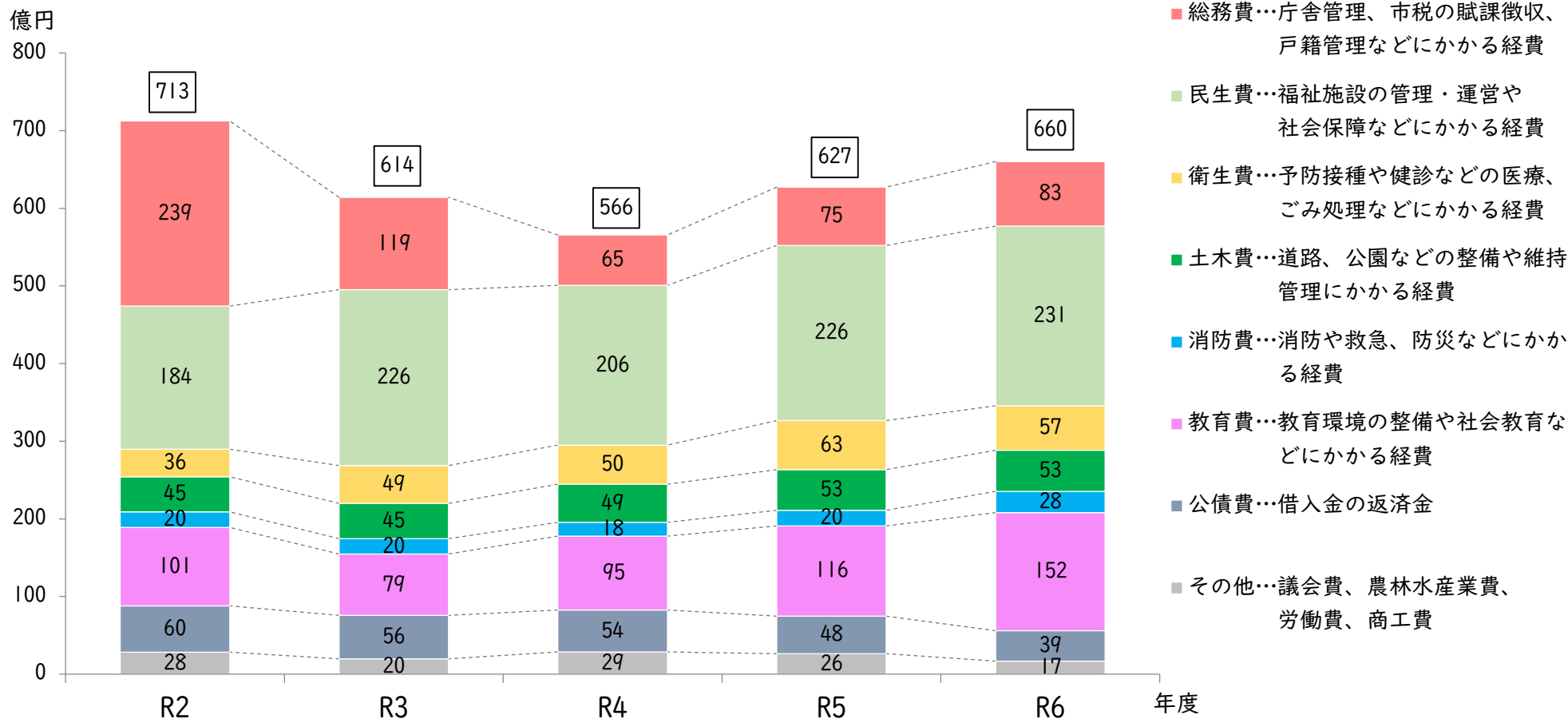
何のためにお金を使ったの？【目的別歳出】

市が使ったお金（歳出）を見てみましょう。

行政目的の視点から「何のために使ったのか」という観点で分類したものが「目的別」という分け方です。

令和6年度は、新特別支援学校整備事業などの実施により、教育費が36億円増加しています。

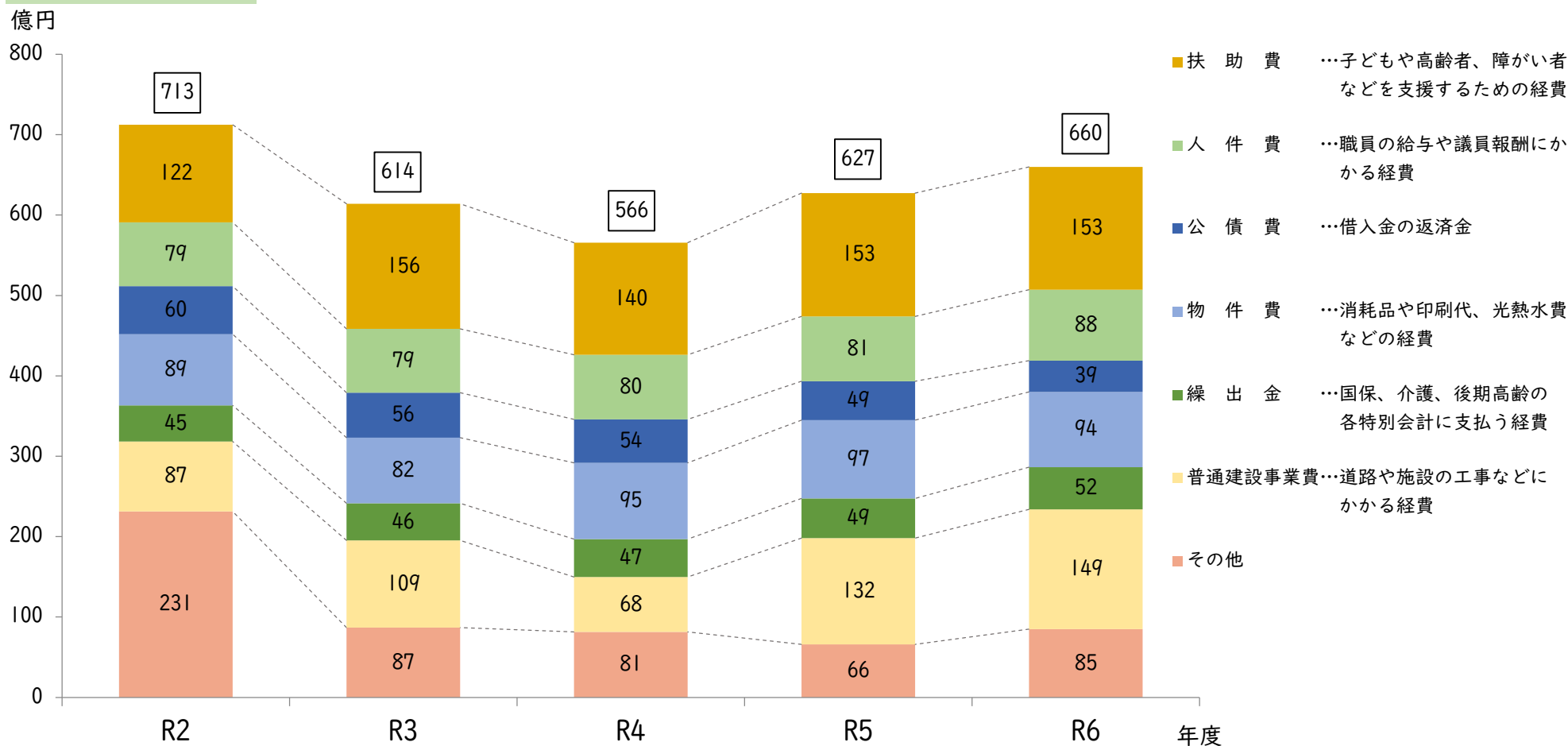
歳出（目的別）



どんなことにお金を使ったの？【性質別歳出】

経済的性質の視点から「どんなことに使ったのか」という観点で分類したものが「性質別」という分け方です。令和6年度は、北清掃センター基幹的設備改良事業や新特別支援学校整備事業などの実施により、普通建設事業費が17億円増加しています。

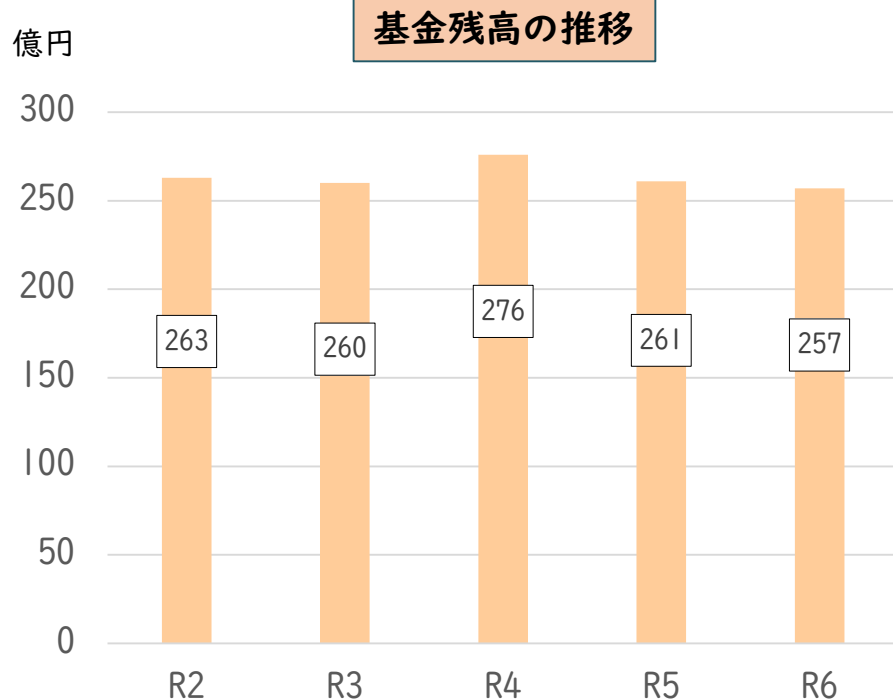
歳出（性質別）



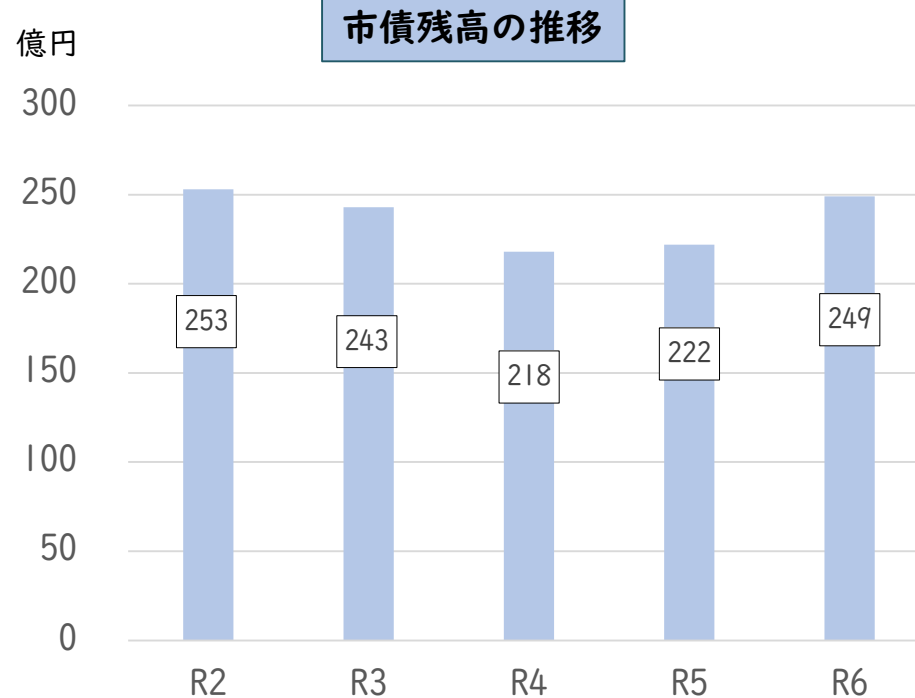
貯金や借金はどれくらいあるの？

【基金・市債残高】

市では、貯金のことを「基金」、借金のことを「市債」と呼んで管理しています。
令和6年度末において、基金残高は、257億円で、令和5年度末と比べ4億円減少しました。
また、市債残高は、249億円で、令和5年度末と比べ27億円増加しました。



基金は、年度間のお金の過不足を調整するもの、借入金の返済に使うもの、学校施設の整備に使うものなど、それぞれの目的ごとに分類し、管理しています。



市債にも種類がありますが、市では将来の実質的な財政負担を軽くするため、国の支援がある有利なものを活用しています。将来にわたって使用できる公共施設の整備は、世代間の公平性の観点からも市債を活用しています。

どんなことにお金を 使ったの？もっと詳しく

令和6年度に実施した主な事業について、目的別に紹介します。

※かっこ書きは令和6年度の課名



婚活支援事業



次期総合計画策定事業



フレイル予防運動プログラム事業

総務費 まちづくり推進課

婚活支援事業

928千円



結婚を希望する方を支援するため、婚活パーソナリティ診断及び診断結果に基づくアドバイスや良好な会話術等を学ぶ婚活セミナー、岐阜かかみがはら航空宇宙博物館での婚活イベント「宇宙婚（そらこん）」を開催しました。

総務費 企画政策課

次期総合計画策定事業

5,879千円



審議会の開催などを通して、将来都市像を実現するための施策やその取組方針などを示す次期総合計画の「前期基本計画」（計画期間：令和7年度～11年度）を策定しました。

民生費 こども政策課（子育て応援課）

地域型保育事業所整備事業

38,958千円



保育需要増加への対応を目的に、0歳から2歳までの乳幼児を対象とした地域型保育事業所を開設するために必要な施設の改修に要する経費の一部を事業者に補助しました。

民生費 特別会計 健康づくり推進課（高齢福祉課）

フレイル予防運動プログラム事業

4,305千円



市で行ってきた介護予防教室への参加が少ない層（主に前期高齢者の男性）をターゲットとし、筋力トレーニングなどを中心とした3か月間の運動プログラムを実施しました。

衛生費 特別会計 水質改善対策室・水道施設課

水質改善対策事業

109,989千円



安全な水道水を供給するため、PFOS・PFOA等の濃度検査や、濃度低減対策として設置した活性炭の交換などの維持管理を適切に実施しました。
また中期的対策として、水質改善対策委員会の審議を経て、令和7年2月には新たな浄水処理施設整備のための詳細設計に着手しました。（令和7年度に全額繰越）

衛生費 環境政策課

地下水対策事業

11,529千円



地下水の水質及び水量の状況を把握するため観測を行いました。その中で、有機フッ素化合物（PFOS・PFOA）については、県と連携した継続モニタリング調査を2回、市単独での市内全域調査を1回実施しました。



航空宇宙博物館利用促進事業



まちなかウォーク推進事業
「那加 from Park 構想」

労働費 商工振興課

インターンシップ促進事業

130千円



企業の採用活動、学生の就職活動の双方にとって効果のあるインターンシップのプログラム作成のポイントを学ぶセミナーを実施しました。

農林水産業費 農政課

地域計画策定事業

89千円



将来の農業の在り方を話し合い、農地の効率的利用を図るため、農業関係者による協議の場を設けました。また、結果をとりまとめ、計画の策定と公表を行いました。

商工費 都市活力創造課（商工振興課）

チョイソコ広域連携事業

5,851千円



民間事業者と共同で令和6年10月から、川島地区、稲羽西地区の一部でデマンド型乗合交通「チョイソコかわしま」を運行し、地域住民の日常生活における移動手段を確保しました。

商工費 観光交流課

航空宇宙博物館利用促進事業

22,691千円



企画棟が新たにオープンしたことを記念して、県及び市主催の企画展などを行い、VRヘリシミュレータを導入するなど、岐阜かかみがはら航空宇宙博物館の魅力向上に努めました。

土木費 都市活力創造課

まちなかウォーク推進事業

「那加 from Park 構想」

12,284千円



「市民公園周辺地区店舗開業支援補助金」による空き家・空き店舗の利活用の促進や、事業について情報発信する「那加デザインミーティング」の開催など、市民公園・学びの森のにぎわいを那加商店街まで波及させるための各種事業を展開し、那加地区のにぎわいを創出しました。



高機能消防指令センター全更新事業

土木費 河川公園課

前渡地区木曽川周辺整備事業 252,550千円



地域を越えた人々の交流が生まれる新たなにぎわい創出の場として、民間事業者のノウハウやアイデアを活用する「Park-PFI制度」を活用し、木曽川河川敷に「木曽川前渡南公園」（愛称：KakamigaharaわたしのPARK）をオープンしました。

消防費 消防課

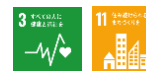
高機能消防指令センター全更新事業 682,880千円



消防指令業務の中核システムである高機能消防指令センターの全更新を実施しました。

消防費 消防課

コンビニAED設置事業 1,087千円



市内すべてのコンビニエンスストアへAEDを設置することで、24時間、緊急時にAEDの使用が可能な環境を整備しました。

教育費 教育総務課（教育施設整備推進室）

新特別支援学校整備事業 4,605,138千円



誰もが住み慣れた地域で安心して学べるよう、令和7年4月の開校に向け、知的障がい・肢体不自由・病弱がある児童生徒が小中高一貫で学ぶことのできる「かかみがはら支援学校」の整備を完了しました。

令和2～6年度 総事業費：8,078,906千円 累計寄附額：133,473千円

教育費 教育施設管理課（学校施設課）

体育館空調設備整備事業（小・中学校）347,179千円



児童生徒の教育活動時や災害時の避難所の熱中症対策として、令和6年度から9年度にかけて小中学校体育館に新たに空調設備を整備します。令和6年度は中学校5校の工事を行いました。

教育費 いきいき学習課

文化会館施設整備事業 798,457千円



落雷事故により休館中の文化ホールの復旧及びリニューアル工事と市民会館の天井改修工事等を行いました。



新特別支援学校整備事業



「ふるさと納税」 の使い道は？

応援メニュー	寄付金額 (千円)
① 教育・文化・スポーツに関すること	47,864
② 環境に関すること	23,713
③ 保健・医療に関すること	12,900
④ 高齢者福祉に関すること	10,989
⑤ 障がい児者福祉に関すること	12,602
⑥ 子ども福祉に関すること	60,915
⑦ 防災・防犯に関すること	8,506
⑧ 基盤整備に関すること	4,192
⑨ 産業振興に関すること	13,074
⑩ 各務原市まると応援	156,767
合計	351,522



交通安全施設整備事業

令和6年度中にいただいた「ふるさと納税」351,522千円を活用した主な事業を紹介します。

①

給食センター改修等整備事業

50,347千円



小中学校へ確実に給食を届けられるよう、老朽化したシステム食器・トレイ洗浄機などの更新を行いました。

④

川島会館管理費

33,848千円



高齢者の福祉増進や教養の向上などを目的として、健康で生きがいのある生活を送ることができるよう、入浴施設やレクリエーション活動の場を提供しました。

⑤

福祉の里管理費

321,700千円

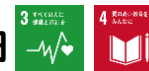


障がいのある方に対する効果的な障がい福祉サービス等の提供に努め、安全・安心な施設利用のための適切な管理運営を行いました。

⑥

公立保育所維持補修事業

4,888千円



建物や遊具などの経常的な施設修繕を実施し、保育施設の安全管理に努めました。

⑦

消防車両更新事業

37,898千円



災害時において迅速確実に出動・稼働できるよう、西部方面消防署川島分署の高規格救急自動車及び西部方面消防署の査察車を更新しました。

⑧

交通安全施設整備事業

20,945千円



交通安全施設の維持管理のほか、更なる交通事故防止対策としてカラー舗装などを行うことで、事故リスクの低減に努めました。

各務原市役所

〒504-8555

岐阜県各務原市那加桜町 1-69

TEL 058-383-1111(代表)

HP www.city.kakamigahara.lg.jp

